

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童支援センターふう		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会福祉士や公認心理師、精神保健福祉士など、直接処遇員の全員が有資格者であり、高い専門性を有していること。	研修日を出勤日として取り扱い、資格取得にかかる金銭の援助を行っている。	有資格者による勉強会の実施
2	就労支援を10年以上行ってきたことから、将来を見据えたシームレスな支援、及び、助言ができること。	特に中高生の子を持つ保護者に対して、情報提供や助言を行う。	就労分野での作業の体験を実施し、働くイメージを持ってもらうこと
3	併設するB型事業所の併当事業との連携により、普段の食事等のサポートを行えること。また、公式LINEを通じたクーポン券配布により、安価に提供できること。	保護者が料理の時間も休めるよう、レスパイトを目的として行う、注文もSNSで行えるようにしている。	商品を自宅まで配達するなど、よりレスパイトを意識して行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	よりよい支援のため、様々な視点から支援できるような人員の充実を図りたい。	地域の特性としてマンパワー不足が見られる。	経済産業省の推進する「健康経営優良法人」の取得から、職員にとって魅力ある職場づくりに取り組む。
2	施設的环境が開放的である一方で、望まれる静粛性の確保が難しいこと。	既存改修による施設整備のため、自由な間取りの実現が難しい。	安全を確保しつつ、屋外でのクールダウン等を行う。
3			